

# ボルノ州の酸素供給量の増加及びワクチン保管能力向上を目的とした、日本政府による約230万米ドルの無償資金協力のプロジェクト開始式の開催

令和3年4月13日

令和3年4月13日、在ナイジェリア日本国大使館及び国際連合プロジェクトサービス機関（UNOPS）、は、ボルノ州政府の協力の下、日本政府の約230万米ドルの無償資金協力によってUNOPSと実施するプロジェクトの開始式をオンラインで開催しました。本プロジェクトは、ボルノ州の都市マイドゥグリ及びピウの総合病院の敷地内に医療用酸素プラントを新設し、地域における医療用の酸素供給量を増加させることを目的としています。また、本プロジェクトでは、ソーラー直接駆動式のワクチン用冷蔵庫を調達し、地域のワクチン保管能力を向上させることも目的としています。本プロジェクトによって、ボルノ州の26の地方行政区（LGA）に住む710万人の住民が裨益する見込みです。

開始式において、篠澤孝幸臨時代理大使は「日本は、ナイジェリアの長年における堅実なパートナーであり、暴動の影響に苦しむ北東部、特にボルノ州において、こうしたプロジェクトを実施することによって、保健・医療システムの強化及び改善に向けたナイジェリアの努力を支援していきます」と述べました。

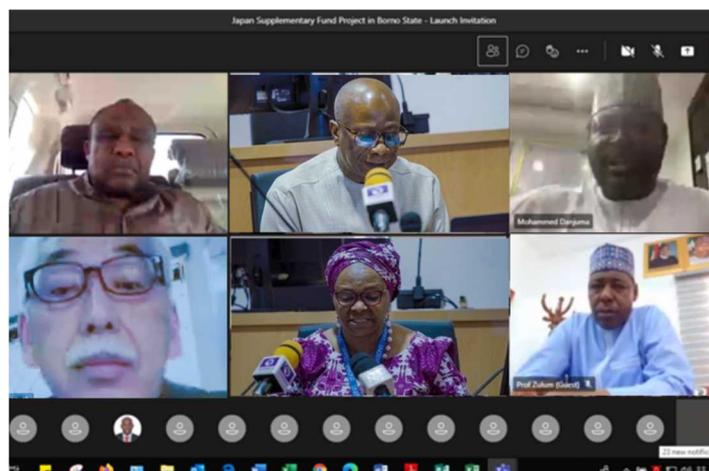
本式典には、ババガナ・ウマラ・ズルム・ボルノ州知事、モハメド・ゴニ・アラカリ北東部開発委員会代表及びエドワード・カロン当地国連常駐人道調整官が出席し、スピーチを行いました。

日本政府は、いまま続く暴動及び新型コロナウイルスに関する健康危機の影響を受けている、ナイジェリアの保健・医療セクターの強化のためのナイジェリアの人々の努力をこれからも支援していきます。

関連：本件に関する国連（ナイジェリア）のホームページにおける記事（英語）

<https://nigeria.un.org/en/124776-project-scale-oxygen-supply-and-vaccine-storage-capacity-launched-borno-state?fbclid=IwAR0FtxPyA3xUXqQU8VklIxY7Ey43cgIjF-1CJIItUy3sQToDFBmdcnFaFE>

案件名及び実施パートナー	ナイジェリア、ボルノ州における争いの影響を受けた地域や到達困難な地域の保健システムの強化（UNOPS）
供与額	2,311,954米ドル（約2.54億円）
案件概要	・酸素プラントの調達による地域の酸素供給量の増加 ・ソーラー直接駆動式のワクチン用冷蔵庫の調達による保健・医療施設のワクチン保管能力の向上



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開始式はオンラインで開催されました。

（写真：UNIC Lagos）